

(株)三越伊勢丹ホールディングス(国内百貨店事業)売上速報(2019年 12月)



三越伊勢丹ホールディングス

2020年1月6日

国内百貨店事業 売上

店名	前年比	4月-12月 累計
伊勢丹新宿本店 店頭	96.5%	97.3%
三越日本橋本店 店頭	92.1%	96.0%
三越銀座店	94.3%	97.9%
伊勢丹立川店	98.7%	99.1%
伊勢丹浦和店	93.3%	97.2%

会社名	前年比	4月-12月 累計
札幌丸井三越	97.4%	99.2%
函館丸井今井	104.9%	107.1%
仙台三越	92.0%	95.1%
新潟三越伊勢丹	95.5%	96.5%
静岡伊勢丹	92.1%	95.2%
名古屋三越	92.8%	98.1%
広島三越	93.8%	99.7%
高松三越	91.4%	97.1%
松山三越	86.5%	93.0%
岩田屋三越	91.5%	95.0%

三越伊勢丹 計	89.5%	96.2%
三越伊勢丹 既存店計※	94.7%	97.0%

※2019年9月末日に営業終了の伊勢丹相模原店・伊勢丹府中店の実績除く

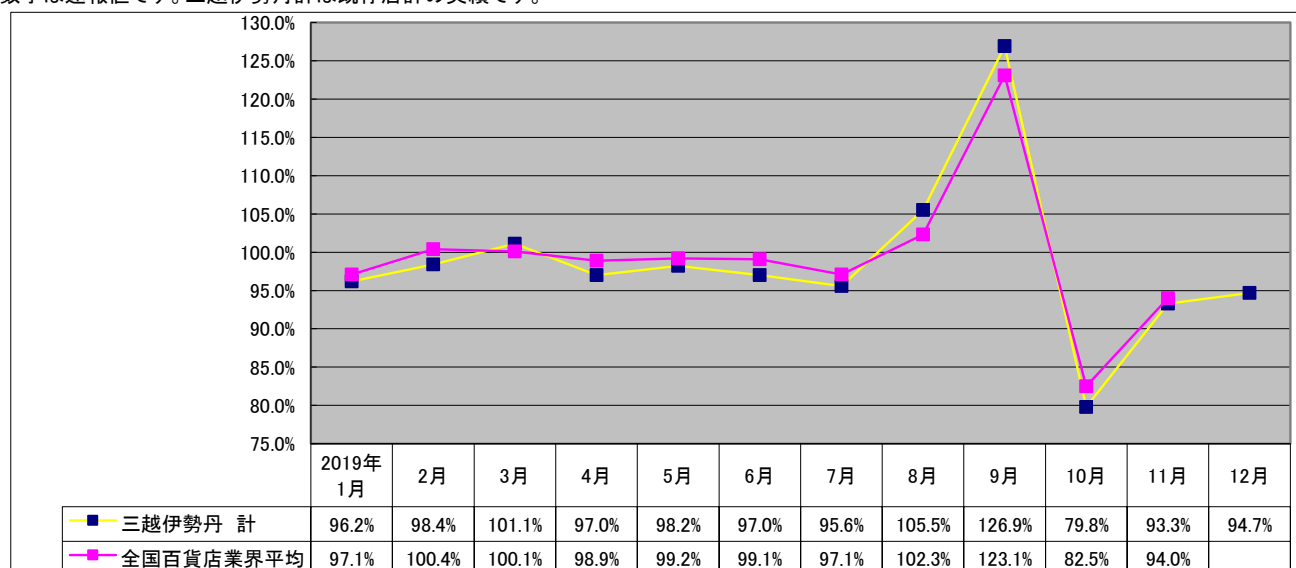
国内グループ百貨店 計	93.3%	96.8%
-------------	-------	-------

国内百貨店 計	91.1%	96.4%
国内百貨店 既存店計※	94.1%	96.9%

※2019年9月末日に営業終了の伊勢丹相模原店・伊勢丹府中店の実績除く

過去1年間の月別売上高(前年比)推移 [三越伊勢丹・全国百貨店業界平均]

数字は速報値です。三越伊勢丹計は既存店計の実績です。



概況

- 着実に回復基調にはあるものの、一部カテゴリーにおいては消費増税前の駆け込み需要の反動減の影響が残っていること、また、土曜祝日の2日減、クリスマスの曜日並びのマイナス与件もあり、首都圏三越伊勢丹(既存店)と国内百貨店(既存店)ともに、3か月連続して前年実績を下回る。
- 首都圏の基幹店計では、手土産需要の和洋菓子や、お歳暮、おせちといった歳時記関連の売上が好調だった一方、改装工事による売場閉鎖や、この時期としては比較的気温が高かったこともあり、冬物衣料品への需要が伸びなかった。
- インバウンド売上に関しては、化粧品カテゴリーが引き続き低調ながらも、ラグジュアリーブランド・宝飾・時計の動きが堅調だったこともあり、全体としては先月よりもマイナス幅は縮小した。